

白旗神社

白旗神社は、若宮のすぐ東、柳原神池の隣にあります。ここに祀られているのは、鎌倉幕府と鶴岡八幡宮の両方の生みの親である源頼朝（1147-1199）と、その息子で鎌倉幕府3代将軍の実朝（1192-1219）です。2人は死後神格化され、鶴岡八幡宮の境内で祀られましたが、当初は別々の社に祀られていました。これらの社が1888年に合祀され、現在の場所に白旗神社が創建されました。

黒漆が塗られた白旗神社には、5枚の笹の葉と3輪のリンドウの花からなる源氏の家紋が大きく掲げられています。白旗という名前は、源氏が戦で用いた旗にちなんだもので、頼朝の神号である白旗大明神の語源になっています。参拝者は、天下を勝ち取った武士であり、名高く高貴な人であった頼朝に対して、必勝や学業成就を願って祈ります。また、実朝は芸術や文学の才能が有名です。